リレートーク #173

紹介者
菅野 健一
リスクモンスター
代表取締役CEO

変化の時代に“思い”を込めたかじ取りを

和田 成史
オービックビジネスコンサルタント
取締役社長

2011年の日本経済に目を向けると、3月11日の東日本大震災による打撃に加え、ユーロ圏の問題や円高など、100年に一度、1000年に一度といわれていた危機が、ブラックスワンとなってまとめてやってきました。さらにはTPPなど、グローバル化の流れに伴う多くの問題がクローズアップされた年でした。一方で、こうした厳しい環境の中、世界が新しい時代に向かって確実に変化しつつあることを強く感じます。

例えば、私が携わるICT業界では、スマートフォンやクラウド・コンピューティングなどによるネットワーク社会が世界に急激な変化をもたらしています。新興国では、民主化運動が熱を帯び、国が生まれ変わるほどの影響がありました。私たちは、一瞬にして世界が変化するさまに立ち会ったわけです。

この激しい潮流の中では、正しいビジョンとブレない方向性、しっかりとした戦略的な思いを持ったリーダーシップの発揮が必要と思います。私の場合、こういう時は、大切にしている座右の銘をスーッと思い起こし、おさらいをします。

私の座右の銘は、「人生で大切なのは、“知恵”“勇気”“忍耐”“努力”“寛容”」。これは、聖書の中の言葉です。起業した時、会社に大きな変化を起こした時、ITバブルの時、そして今回。さまざまな転機でこの言葉を支えにしてきました。この言葉は、とても重要な場面で私を支えてくれました。

社員にも、“思い”について考えるように話しています。

時代の潮流のスピードが速まれば、変化も早い。その中では何事も、スピーディにチャレンジしていくことが大切です。その礎となるのは、人それぞれの“思い”なのではないでしょうか。社員一人ひとりが、“思い”を原動力にしてチャレンジを積み重ねていくことが、グローバルな時代の役割貢献につながるのだと思います。

「人は“思い”によって生きている」。ある方から教わった言葉です。その通りだと思います。国には国の、企業には企業の、そして経営者には経営者としての“思い”を込めてかじ取りを行い、変化の時代の潮流を進んでいく。“思い”を持ったリーダーシップが、必要な時代だと思います。

次回リレートーク：古賀 信行（野村證券 取締役会長）